AKAN AINU ARTS & CRAFTS → NEXT

Product Catalog

AKAN AINU ARTS & CRAFTS → NEXT

ものは、大切なひとを思いながらつくること。

ものは、自然と共生しながらつくること。

ものは、必要以上にいらないこと。

アイヌに受け継がれる伝統はそのままに、

いま阿寒湖アイヌコタンのつくり手たちは、

その手仕事を進化させ、

そのインスピレーションを深化させ、

新しいものづくりに向かって進んでいます。

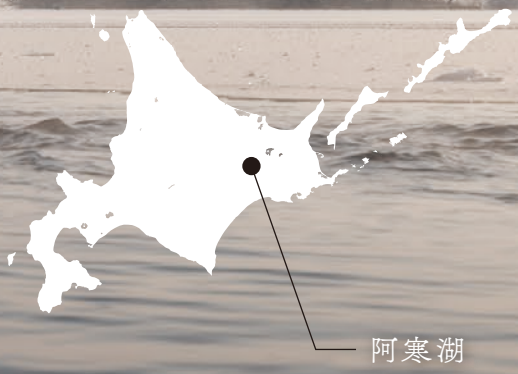
今を生きるアイヌ工芸作家の創作活動を

伝えるプロジェクト、それがAKAN AINU

ARTS & CRAFTS → NEXTです。

阿寒湖アイヌコタンについて

北海道の東に位置する阿寒湖。現在、阿寒湖アイヌコタンには約120人のアイヌの人々が暮らしており、多くのアイヌ工芸のつくり手たちが、伝統を大切にしながらも、現代の感覚を取り入れ、新しいものづくりに挑戦しています。



AINU ARTS & CRAFTS

受け継がれる文化とものづくり

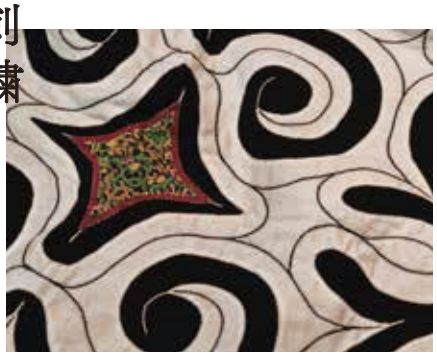
豊かな森、川、湖など、自然の営みの中で育まれてきたアイヌ文化。アイヌは、恵みをもたらしてくれる自然を尊び、自然と向き合いながら、日々の暮らしに必要なものを自らの手で生み出してきました。そのものづくりには、現代の生活にもつながる暮らしを彩る技が脈々と受け継がれています。

織物

自然の素材を余すことなく。植物が織りなす独特の風合い

アイヌの代表的な着物[アットゥシ]や[チタラペ]などには、素材として植物繊維が使われています。木の樹皮を長い時間をかけて糸にし、丁寧に紡いでいく製法には、自然の恵みを余すところなく使う、アイヌのものづくりの精神が色濃く反映されています。

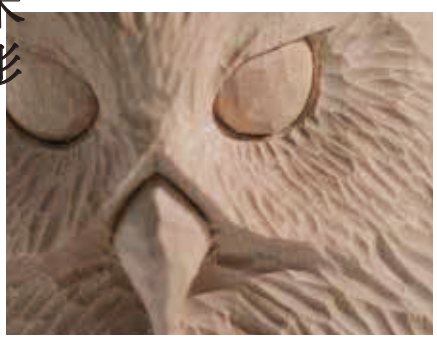
刺繍



祈りをこめて縫い上げる。繊細で美しいアイヌ文様

アイヌの刺繍に見られる文様は[モレウ(渦巻)]、[アイウシ(棘)]、[シク(目)]などいくつかのモチーフを自由に組み合わせて描かれます。文様の解釈には諸説ありますが、「魔除け」や「お守り」の意味が込められています。着る人や使う人を思いやり、幸せを願うつくり手の想いは、今も昔も変わることはありません。

木彫



こだわりが細部に宿る。アイヌの手仕事

アイヌ文化の根底にあるのは、自然への敬意と感謝。山や湖、動植物、そして生活の道具に至るまで、[カムイ(神)]が宿ると信じ、日用品でさえも、決して粗末に扱わず、彫刻や装飾を施して大切に使います。アイヌ文様や動物たちをモチーフにした彫刻作品には、先人たちから受け継いできた精神が映し出されています。

WEARING AINU SKILLS

アイヌの技を纏う

WEARING AINU SKILLS

01 トートバッグ

伝統のアイヌ文様をアレンジし、オリジナルの刺繍を施したトートバッグ。一針、一針丁寧に縫い上げられたきめ細かなステッチ[オホ]の、豊かな色彩が一際目を引きます。

作家 鰹屋 エリカ

サイズ W:260mm H:310mm D:20mm
ストラップ:330mm

02 トートバッグ

文様の形に切り抜いた布を生地にまつり縫いしていく[カパラミプ]という技法でアイヌ文様を描いたトートバッグ。異なる生地を組み合わせることによって、生地それぞれの風合いや手触りの違いも楽しんでいただけます。

作家 小林 慶子

サイズ W:340mm H:370mm D:70mm
ストラップ H:330mm

03 カロㇷ゚(大・中・小)

火打石を入れるために作られていた[カロㇷ゚]。昔はゴザと同じガマという素材で作られていたものを、布生地でショルダーとして使えるようにアレンジしています。

作家 西田 香代子

サイズ W:145mm H:160mm
ストラップ:470mm

04 ペヌㇷ゚鈴ストラップ

アイヌは古くから[ペヌㇷ゚]と呼ばれる植物イケマの根の強烈な臭気が魔除けになると考え、身に着けていました。伝統的なお守りを、鈴とともに身に着けやすいストラップに。

作家 郷右近 富貴子

サイズ W:26mm H:34mm
(取手含め:H71mm)

05 エムㇱアッ ブレスレット

アイヌの男性が儀礼の際に身に着ける刀下げ帯[エムㇱアッ]をモチーフにしたブレスレット。古くから民具に使われてきたオヒョウやイラクサなどの樹皮糸を使い、編み上げています。

作家 郷右近 富貴子

サイズ W:190mm H:36mm

06 半纏

帯状の布を折り曲げながら、道をつくるように文様を描く伝統的な技法[ルウンペ]でつくった半纏。襟や袖口から悪いものが身体に入り込まないよう、纏う人の身を案じて刺繍を施します。

作家 小林 慶子

サイズ 着丈:910mm 身幅:700mm
袖丈:480mm

WEARING AINU SKILLS

07 熊マスクチャーム

阿寒湖で数少ない熊彫り職人の手仕事が光る熊マスクチャーム。小さいながらも、ひとつひとつ異なる熊の表情を楽しんでいただける愛らしいチャームです。

作家 日川 清

サイズ チャーム:W:19mm H:25mm
D:15mm ストラップ含む全長87mm

08 髪留め クルミ

クルミを素材に、繊細で美しい木彫を施しました。主張しすぎない、上品で温もりを感じるデザインで、ファッションの自然なアクセントに。

作家 平良 秀晴

サイズ W:245mm H:56mm D:38mm

09 髪留め 槐（エンジュ）

元来、魔除けとされてきた槐（エンジュ）の木に大胆に彫刻を施した髪留め。樹種によって異なる表情を活かしながら、ひとつひとつ丁寧に彫り上げています。

作家 平良 秀晴

サイズ W:150mm H:34mm D:32mm

10 UTASA 向かいあう文様のペンダント

「互いに交差する」という意味を持つアイヌ文様[ウタサ]をモチーフにしたペンダント。チェーンを付け替えることで、さまざまなファッションにあわせていただけます。

作家 下倉 洋之

サイズ チャーム:W:15mm H:17mm
D:1.5mm

11 KIMUN KAMUY ヒグマの手のリング

阿寒湖の名匠の木彫作品から刺激を受けて、幾度となくリメイクをくりかえしてきたリング。力強くも精巧な技術によって、爪、毛並みに至るまで[キムンカムイ(ヒグマ)]の手をリアルに表現しています。

作家 下倉 洋之

サイズ #10～30号

12 UPSI MOREW 連なる文様のバングル

阿寒湖の連なる山々のように力強く、裏側一面に彫った文様が、身に着ける人に力を与えられるように、とおもいを込めつくられたバングルです。

作家 下倉 洋之

サイズ W:67mm H:40mm D:55mm
手首周り188mm

手作業で、一針一針丁寧に。地道な手仕事が、鮮やかな文様を描き出します。

LIVING WITH AINU CULTURE

アイヌの文化と暮らす

LIVING WITH AINU CULTURE

13 コタンコロカムイ

阿寒湖アイヌコタンのシンボルとも言えるシマフクロウは、[コタンコロカムイ(村の守り神)]と呼ばれています。おおらかで温かみのある造形と、繊細な彫りの技術が光ります。

作家 渡辺 澄夫

サイズ W:240mm H:510mm D:180mm

14 ホロケウカムイ

アイヌが「狩りをする神」として大切にしてきたオオカミをモチーフにしたオブジェ。生きているものを自然のまま、生命を感じられるように精巧に彫り上げました。

作家 渡辺 澄夫

サイズ W:400mm H:450mm D:250mm

15 タペストリー

おだやかな曲線が繋がる[モレウ]や、棘、角をイメージした[アイウシ]、[キラウ]の3種類のアイヌ文様を組み合わせたタペストリー。やわらかな印象がお部屋にぬくもりを与えます。

作家 西田 香代子

サイズ W:410mm H:275mm

16 ベスト

背中襟口に縫い込まれた棘のアイヌ文様には、その棘で外敵や病気などから身を守る「魔除け」のおもいが込められています。静かに込められた祈りを、ファッションのアクセントに。

作家 小林 慶子

サイズ 着丈:615mm 身幅:550mm

17 バターナイフ

「アイヌ工芸品を毎日の暮らしに。」そんなコンセプトから生まれたバターナイフ。自由でおおらかな感性と遊び心にあふれた文様が、日々の食卓を彩ります。

作家 瀧口 健吾

サイズ W:34mm H:160mm D:17mm

18 ガマコースター

住居や儀式で使用する敷物・[チタラペ]をコースターに応用しました。夏は涼しさを、冬はあたたかさを演出し、テーブルに華を添えます。

作家 下倉 絵美

サイズ W:116mm H:104mm D:5mm

LIVING WITH AINU CULTURE

19 イタ

木目の美しさを生かし、繊細な彫りを施した[イタ(お盆)]。木材そのものが持つ自然の温かみを、流れるような流線型の彫刻がやさしく引き立てます。

作家 床 州生

サイズ W:294mm H:250mm D:24mm

20 ニマ

日常になじむ丸いフォルムの器に、渦巻型のアイヌ文様[モレウ]を大胆に刻みこんだニマ。食材をやわらかく包み込みながら、日々の活力を与えてくれます。

作家 床 州生

サイズ W:358mm H:200mm D:35mm

21 マキリ

その彫りの仕上げによって彫り師の腕が問われると言われるほど技術を要する[マキリ(小刀)]の彫刻。鞘や柄の彫刻には、ダイナミックさと、緻密さを兼ね備えた熟練の手技が光っています。

作家 日川 清

サイズ W:285mm H:36mm D:22mm

アイヌの生活用品と工芸

自然やその恵みから生み出されるものはすべて神の化身であるとの考えから、美しい文様が施されるアイヌの日用品。ものに宿る神、使う人へのおもいが、ものづくりの中にも垣間見えます。

イタ

アイヌの伝統的なお盆。器をのせて運んだり、食べ物を盛る道具として用いられていました。表面や裏面に美しいアイヌ文様が彫られることが特徴です。

ニマ

アイヌ語で「くり鉢」を意味する[ニマ]。その名の通り、木をくり抜いて作られた器です。自然の恵みを無駄なく使おうとする姿勢が、その製法にもあらわれています。

マキリ

主に狩猟や漁に用いられてきた小型の刃物。鞘や柄にアイヌ独特の文様が施され、かつてはアイヌの男性が女性に結婚を申し込む際の贈り物としても用いられました。

素材となる木を生かしながら、時に大胆に、時に繊細に彫りすすめます。

INTRODUCTION OF

AINU ARTISTS

アイヌのつくり手たち

刺繍作家

鰹屋 エリカ

阿寒湖アイヌコタン育ち。17歳の頃、刺繍作家の祖母・母の仕事に影響を受け、技術を習得。2人の技を受け継ぎつつ、自分自身の工夫を重ねている。

アイヌ工芸作家

郷右近 富貴子

アイヌ工芸作家であり、アイヌ歌謡の歌い手。アイヌ文化に精通。姉妹ユニット「Kapiw&Apappo」として、多くのミュージシャンとも共演を果たしている。

刺繍製品の製作者

小林 慶子

結婚を機に移住した阿寒湖アイヌコタンで、アイヌ文化の継承に尽力。自身も刺繍作家として多くの作品を生み出している。2015年北海道アイヌ協会より優秀工芸師の認定を受ける。

木彫作家

斉藤 政輝

木彫とアイヌ民芸の専門店「木になる店　サンラマント」を経営。また、地域の取りまとめ役として阿寒湖アイヌコタンの伝統工芸技術の継承や活用など、仲間や関係者と様々な取組に参加している。「Anytime,Ainutime!」木彫プログラム「創る時間 木彫体験」の、チャームのデザインも担当し、アイヌシアター「イコロ」の入口のカムイニも手掛ける。

彫金作家

下倉 洋之

1975年生まれ。東京のジュエリー工房で修行していた頃、訪れた北海道でアイヌ文様の魅力に魅せられ、アイヌを意識した装身具づくりを始める。2013年阿寒湖温泉に移住。アトリエ「cafe & gallery KARIP」で創作活動を行う。

アイヌ工芸作家

下倉 絵美

幼少期よりアイヌ文化に親しむ。姉妹ユニット「Kapiw & Apappo」を結成しアイヌ歌謡の魅力を伝える傍ら、アトリエ「cafe & gallery KARIP」で創作活動を行う。

旅行で訪れた阿寒湖アイヌコタンで出会った木彫りに興味を持ち、阿寒湖温泉へ移住。アルバイトをしながら木彫りの技術を身につけ、木彫家として活動する。

木彫作家

平良 秀晴

阿寒湖アイヌコタンで生まれ育ち、祖母の存在から、アイヌ文化を学ぶ。古式舞踊や歌、楽器の演奏、織物や刺繍など、アイヌ文化に広く携わる。

アイヌ工芸作家

平良 智子

1982年生まれ。阿寒湖アイヌコタンにて幼少期を過ごし、その後オーストラリア在住中に木彫りに興味を持つ。彫刻家だった父の跡を継いで木彫作家となり、自由な発想で作品を生み出している。

木彫作家

瀧口 健吾

阿寒アイヌ工芸協同組合理事であり、阿寒アイヌ協会副会長。現在は「床ヌブリの店ユーカラ堂」の店主を務めながら、阿寒湖アイヌシアター「イコㇿ」で上演される阿寒ユーカラ「ロストカムイ」等への出演・演出を手がけている。

木彫作家

床 州生

阿寒湖アイヌコタンで「アイヌ料理の店民芸喫茶ポロンノ」を開く。祖母や母から学んだアイヌ文化を家族や地域の若い世代に伝える。

アイヌ工芸作家

床 みどり

結婚を機に阿寒湖アイヌコタンへ移住し、義母の刺繍仕事を見て技術を習得する。2001年に優秀工芸師の認定を受け、現在はアイヌ舞踊の活動をする傍ら、アイヌ文様の刺繍づくりや後世の育成を行っている。

刺繍作家

西田 香代子

幼少期に阿寒湖温泉へ移住し、両親からアイヌ民族の儀式儀礼、木彫、植物採集などの知識・技能を学ぶ。木彫の制作・販売を行う「日川民芸店」を営みながら、文化伝承者として多くの若者を育成。

木彫作家

日川 清

バイク旅行で阿寒湖温泉を訪れ木彫に興味を持ち、阿寒湖アイヌコタンへ移住。現在はフクロウやオオカミなど、北海道の動物たちをリアリティたっぷりに彫っている。

木彫作家

渡辺 澄夫

OUR PROJECT

アイヌの伝統を受け継ぎながらも、日々新たな表現を追求し続けてきたつくり手たち。そのものづくりに対するおもいに共感したパートナーとともに、商品開発プロジェクトが始動しました。アイヌのつくり手たちが培ってきた技術と、新しい感性が響き合い、新たな作品が生まれようとしています。

ARTISTS

瀧口 健吾
平良 秀晴

×

COLLABORATOR

FAbULOUS

イワン スマリ
(6匹のキツネ)

瀧口 健吾 Kengo Takiguchi

以前から温めていた、「願いを叶える6匹のキツネ」の置物のアイデア。FAbULOUSさんと一緒に、樹種やサイズ使用する素材に至るまで、ひとつひとつ意見交換をしながらブラッシュアップしてきました。これから完成に向け絵の構成などを調整していく予定です。自信をもって皆さんの手元に送り出せるよう、私もキツネたちに願いを込めました。

アイヌ文様の
カッティングボード

平良 秀晴 Hideharu Taira

野菜などをカットするキッチン用品ということで、植物である蔓がモチーフの文様を選びました。「中央部分ではしっかりと作業ができるように」とアドバイスをいただき、縁の部分に彫り込みを。そして仕上げには初めて植物油を使用しました。使わない時にも飾って楽しんでもらえるデザインになったと思います。この作品を通して、アイヌ文様が多くの人の目に触れる機会になれば嬉しいです。

Partner's Voice

FAbULOUS 中村加代子さん

阿寒の地で昔から大切にされてきた言い伝えや物語をお二人からもお伺いでき、大変ありがたい機会になりました。アイヌ文化に寄り添った"美しさと楽しさ"が込められたこの作品は、多くの皆様に長く愛されることと思います。

FAbULOUS

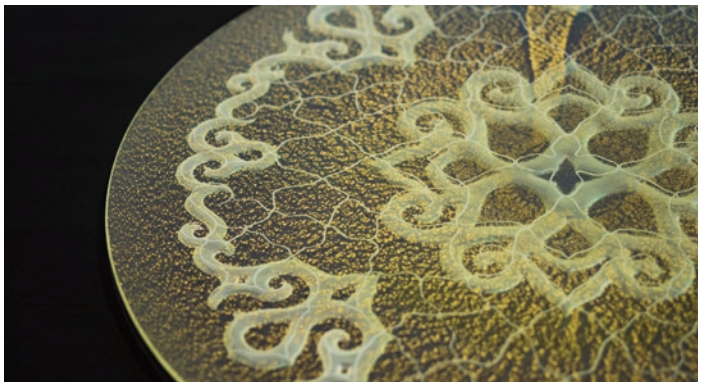
札幌に店舗を持つセレクトショップ。日々の暮らしの中で、何気なく、心地良く寄り添い続けてくれる雑貨や家具、衣料品をセレクトしている。

店舗 札幌市中央区南1条東2丁目3-1 NKCビル1F

Web https://www.rounduptrading.com

ARTIST　　COLLABORATOR

Ague 下倉 洋之 × 鶴本 晶子



吹きガラスのアイヌ文様ショウプレート

Ague（下倉洋之） Hiroyuki Shimokura

当初は強化ガラスでの表現を考えていましたが、リサイクルガラスを使った吹きガラス工房・流氷硝子館さんとの出会いや、鶴本さんからの「金箔」という異素材の提案で、新たな構想が広がりました。硝子職人軍司さんの磨き抜かれた技術で、金箔が水光のように散らばり、想像以上の作品に仕上がりました。

Partner's Voice

ブランドディレクター 鶴本晶子さん

これまで木彫や織物という冬をイメージさせる商材が中心だったアイヌ工芸品の中で、新たに「ガラス」という夏らしい素材での商品開発にチャレンジしました。ガラスという素材とAgueさん独自の美学が結びつき、唯一無二の商品をつくることができたと思っています。

鶴本 晶子

株式会社箔一 ブランドディレクター。shokolatt branding CEO。企業のブランディングコンサルタント、経産省、行政などのアドバイザーを務めながら、ブランドプロデューサーとして、メイドインジャパンの世界発信、ブランドプラットホームづくりに邁進している。

流氷硝子館 軍司昇さん

今まで取り組んでこなかった技法にチャレンジするきっかけをもらい、とても刺激的でした。受け継がれてきた伝統から、一歩先へ踏み出した素晴らしい展開だと思います。

流氷硝子館

北海道・網走のガラス工房。湖、川、雪、氷など、北海道の自然の姿をガラスの特性や技術を生かしながら表現している。

工房　網走市南4条東6丁目2-1

Web　http://www.ryuhyo-glass.com/index.html

ARTIST　　COLLABORATOR

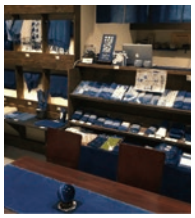
郷右近 富貴子 × ZABO.inc

アイヌ文様の藍染ストール

郷右近 富貴子 Fukiko Goukon

藍染とアイヌ文様の組み合わせと聞いて、藍の奥深い濃淡の中に広がる、大胆でしっとりとしたアイヌ文様のイメージがすぐに浮かび上がりました。染め師熊谷さんの手によって見事に染め上がったストール。タペストリーやテーブルランナーとしても使っていただける美しい作品に仕上がりました。

Partner's Voice



ザボ 株式会社　熊谷大輔さん

「アイヌと藍、伝統」また「自然との共存」が交わり生まれた作品に郷右近様のおもいが皆様に届くよう藍染めいたしました。作品を通し、藍の色彩の可能性とアイヌ文様の美しい世界観の融合を、五感で感じていただけることを願っています。

藍染坐忘

北海道・札幌にて、化学薬品を使わず、自然由来のもので染色する技法「天然発酵建藍染」を活用したものづくり・サービスに力を注いでいる工房。

工房　札幌市東区北8条東16丁目1-5

Web　https://www.zaboblue.com/

OUR PROJECT

ARITA PROJECT

ARTISTS
斉藤 政輝
日川 清
平良 秀晴

×

COLLABORATOR
やま平窯

アイヌ文様 有田焼 皿

阿寒湖アイヌコタンの木彫作家がデザインしたアイヌ文様が凹凸で表現されています。
今回は3名のアーティストが長年培った技術を使って、それぞれの皿の文様デザインを木彫りで製作。こうしてできたアイヌ文様デザインを有田焼の窯元が写し取り、2色の釉薬で焼き上げました。
アイヌ文様の彫りの深さや線の繊細さを釉薬の濃淡で表現し、見ていて飽きの来ない皿ができあがりました。

ARTISTS
鰹屋エリカ
郷右近富貴子

×

COLLABORATOR
久右エ門窯

アイヌ文様 有田焼 染付 皿

阿寒湖アイヌコタンの2名のアーティストが家族から受け継ぎそこに自身の感性を加えた、それぞれの皿の文様デザインを描き出しました。
アイヌ文様デザインを有田焼の窯元が染付の技法を用い、呉須の藍色で皿に表現しました。アイヌ文様のみを描いたものや有田焼伝統の吉祥文様と組み合わせたものなどバラエティに富んだ皿に仕上がりました。

Project Story

阿寒湖アイヌコタンは北海道東部の阿寒摩周国立公園にあり、阿寒湖を抱く森はその美しさでよく知られています。その森を所有してきたのは「阿寒前田一歩園」（現在の前田一歩園財団）。阿寒湖アイヌコタンがある場所は前田一歩園がアイヌの人々に無償で貸与した土地であり、前田一歩園は今でも阿寒湖アイヌの人々にとって大切な存在です。
実は「阿寒前田一歩園」の初代園主・前田正名氏が阿寒湖畔に居を構える以前、1878年の第3回パリ万博で有田焼の紹介に尽力したことが史実として残っています。
阿寒湖温泉と有田焼、それぞれの発展を前田正名という人物が支えたという不思議な縁が、今回のプロジェクトのきっかけになりました。

OUR PROJECT

ARTISTS

西田香代子

西田香代子プロデュースのカロプ

「カロプ」とは、水辺の植物であるガマの茎で編んでつくった「火打ち石入れ」。今回、たすき掛けできる現代のサコッシュのような巾着袋としてリデザインしました。アイヌ刺繍の作家である香代子さんが阿寒湖アイヌシアター「イコロ」で踊る6人の女性たちに指導し、製作。素材を無駄なく使えるよう裁断し、一点一点手づくりしました。 “大切に伝承されてきた民具を現代の人たちに伝えたい”という西田香代子の思いがたくさん詰まったプロダクトです。

ARTISTS

瀧口 健吾

ククサとククサストラップ

ラップランドのサーミ族に伝わる水飲みの道具「ククサ」を自らアレンジ。素材にはアイヌ民族の丸木舟にも用いられる、水に強いカツラの木を使用しました。取っ手の部分には、アイヌ民族の工芸品・イタ（お盆）にも見られる技法・ウロコ彫りを施したものも製作。希少な素材・オヒョウニレで手編みをしたストラップも合わせて作りました。

Project Story

バイヤー・山田遊さんを商品開発のアドバイザーとして迎えたプロジェクトから生まれた「カロプ」と「ククサ」。山田さんとの打合せを経て、これまでになかったアイディアのアイテムが完成しました。開発した商品は2022年2月、渋谷PARCOの「Discover Japan Lab.」で開催された「AKAN AINU ARTS & CRAFTS→NEXT× Discover Japan 特別展」で初めて展示・販売されました。

OUR PROJECT

AINU meets ARITA

ARTISTS
斉藤 政輝
平良 秀晴

×

COLLABORATOR
やま平窯

アイヌ文様 有田焼 皿

前回に引き続き、阿寒湖アイヌコタンの木彫作家が木彫りでデザインしたアイヌ文様の凹凸がそのまま表現された皿を製作しました。今回は、ワンプレートの食事や取り分けをするメイン料理に使ってほしい、直径26cmの大きな丸皿を製作。お皿の面いっぱいに大胆にアイヌ文様をあしらったここでしか見つからない皿ができあがりました。

ARTISTS
小林 慶子
床 みどり

×

COLLABORATOR
久右エ門窯

アイヌ文様 有田焼 染付 皿

阿寒湖アイヌアーティストの2名が、皿の形から考案し、それぞれがデザインしたアイヌ文様を染付で表現。アイヌの伝統的な器「ニマ」の形状から着想した楕円形の皿を製作しました。小林さんは、小ぶりな皿に手仕事の温かみが残る表現を追求。床さんは、特徴的な形状の皿に力強く、大胆にアイヌ文様を描写。二人の手で、これまでにないお皿が完成しました。

Project Story

前回に引き続き、阿寒湖アイヌアーティストと有田焼の窯元のコラボレーションプロジェクトを進めました。前回は、阿寒湖アイヌアーティストが佐賀県の有田焼の窯元を尋ねましたが、今回は有田焼の窯元のお二人が阿寒湖アイヌコタンに来てくださいました。
やま平窯の山本さん、久右エ門窯の久保田さんのお二人は、阿寒湖温泉に来るのは初めて。阿寒湖アイヌコタンでは、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」でのアイヌ舞踊の鑑賞や民芸品店への訪問、阿寒湖温泉を抱く雄大な自然を感じ、阿寒湖アイヌコタンの工芸への共感を深めていただきました。
これまでは、新型コロナ禍の制約もあり、オンラインでの打合せの機会が多く、アーティストと窯元の対面での打合せが叶いませんでしたが、今回の窯元さんの来訪により、ようやくプロジェクトに携わったアーティストと窯元さんの対面が実現。今回完成した作品は、そのコミュニケーションやお互いの理解が深まりできたと言えます。

OUR PROJECT

AINU meets ECHIZEN

ARTISTS

床 州生
渡辺 澄夫

×

COLLABORATOR

ろくろ舎

アイヌ文様漆器 お椀とカップ

かつてアイヌ民族は交易で漆器を手に入れ、祭具や生活用品として重宝してきました。
今回、福井県の越前漆器の木地師と出会い、アイヌ民族と漆器のつながりを新たに表現する取組をスタート。
アイヌの伝統的な祭具「トゥキ（酒器）」の形にインスピレーションを得て、独特なフォルムのお椀とカップを製作。二人の阿寒湖アイヌアーティストがデザインしたアイヌ文様をワンポイントであしらいました。

ARTISTS

郷右近 富貴子
下倉 洋之
平良 智子

×

COLLABORATOR

山次製紙所

アイヌ文様 浮き紙

「浮き紙」は、和紙の「多様な用途」の可能性を模索して生まれた山次製紙所の独自のプロダクト。表面にはっきりと凹凸が付き、柄が浮いたように見える表現です。
今回阿寒湖アイヌアーティストの3名が、浮き紙にするためのアイヌ文様のデザインを考案し、山次製糸所がそのデザインを浮き紙として表現しました。独特の文様の和紙は茶缶やカードケースなどに加工される。

Project Story

今回、縁があり、福井県の越前漆器「ろくろ舎」の酒井さん、越前和紙「山次製紙所」の山下さん、谷口さんと知り合い、阿寒湖アイヌアーティストとの協業によるプロダクト開発プロジェクトを進めることができました。
「ろくろ舎」の酒井さんは北海道出身で、アイヌ文化の理解を深くしてくださっており、アイヌ民族と漆器の歴史的なつながりもお互いに学びながら、商品開発を進めていきました。できあがったお椀やカップは、アイヌ文化と漆器の歴史への敬意を込めながら、現代の技術があってこそ表現ができた作品になりました。
「山次製紙所」の山下さんと谷口さんは、アイヌの伝統文様の独特の形状に強い興味を持ち、かなり意欲的に今回の商品開発プロジェクトに取り組んでくださいました。できあがった浮き紙は、アイヌ文様の形が和紙の凹凸が織りなす色の濃淡で表現されたこれまでに見たことの内表現になりました。

一般社団法人阿寒アイヌコンサルンについて

アイヌ文化の振興、普及啓発の推進及び先住民族アイヌの尊厳を確立するため、人種、民族に基づくあらゆる障壁を克服し、アイヌ民族の自主的経済活動を促進するとともに、その社会的地位の向上と文化の保存、伝承及び発展に寄与し、アイヌ民族の誇りが尊重される共生社会の実現と我が国の多様な文化の一層の発展に資することを目的として令和元年8月28日設立しました。

アイヌ工芸品のお取り扱い・商品開発について

阿寒アイヌコンサルンでは、アイヌ工芸品のお取り扱いや、アイヌ文化に関連する商品の共同開発を行うパートナーを募集しています。
また、商品開発以外にもアイヌ文様やアイヌ語の正しい使用方法など、アイヌ文化の使用全般に関するご相談も承っておりますので、ぜひお気軽にお問合せください。

阿寒湖のアイヌ工芸作家と共同開発したものにはⒶAIPR認証マークと認証コードを発行いたします。

アイヌ文様を使った商品開発の流れ

1.ご相談・ご依頼

▼

2.文様デザイン制作方法決定
（既存蓄積デザインの使用もしくは作家による新規作成のいずれかから選択）

▼

3.お打ち合わせ・ご契約・商品制作開始

▼

4.阿寒アイヌコンサルンによる最終成果物の確認

▼

5.アイヌ製品として認証

▼

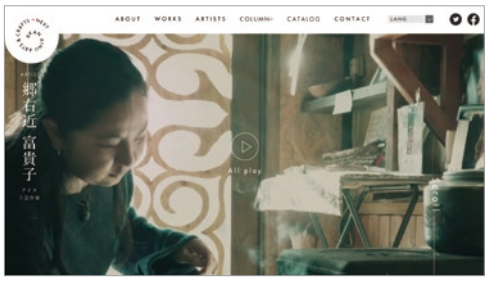
6.ⒶAIPR認証マークと認証コード発行

作家の活動について

今回ご紹介したアイヌ工芸作家たちの活動は、WEBサイトやSNSを通じて、最新情報を発信しています。日々進化を続ける阿寒湖アイヌの活動を、ぜひご覧ください。

公式WEBサイト

阿寒湖のアイヌ工芸作家たちのご紹介や、作品をご覧いただけます。



AKAN AINU ARTS & CRAFTS→NEXT WEBサイト
https://akanainu-next.jp/

公式SNS

プロジェクトの最新情報はこちらから。
新規開発商品の進捗や阿寒湖のイベント情報などをタイムリーにお届けします。

公式 note
https://note.com/akanainu_next

公式 Instagram
https://www.instagram.com/akan_ainu_atrs_crafts_next/

公式 Facebook
https://www.facebook.com/AkanAinu-ArtsCraft-NEXT-100287181607903/

商品・共同開発に関するお問合せ先

一般社団法人阿寒アイヌコンサルン

Mail：akanbrand.ainucon@gmail.com
TEL：0154-65-8973　FAX：0154-65-8985
〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 4-7-19

一般社団法人阿寒アイヌコンサルン
WEBサイト
https://a-ainucon.com/

→ NEXT

次なる一歩を